

日本経済新聞

2018年5月3日付掲載

中小向け融資

受注後すぐに

トランザックスなど

フィンテックベンチャーのTranzax（トランザックス、東京・港）と城南信用金庫（東京・品川）が、中小企業向けに新しい融資サービスを始める。電子記録債権を活用し、納品時ではなく仕事を受注した時点で融資を受けられるのが特徴。中小企業は早期の資金調達が可能になり、これまで受注できなかった事業やサービスに取り組める利点がある。

新しいサービスは「PO（パーチェスオーダー）ファイナンス」。7月から開始する。中小企業はTranzaxの子会社を通じ、受注情報を電子記録に残して債権化する。城南信金はこの電子化された受注情報を担保に中小企業に融資する。